

ひとまわり大きな直まき玉ねぎの作り方

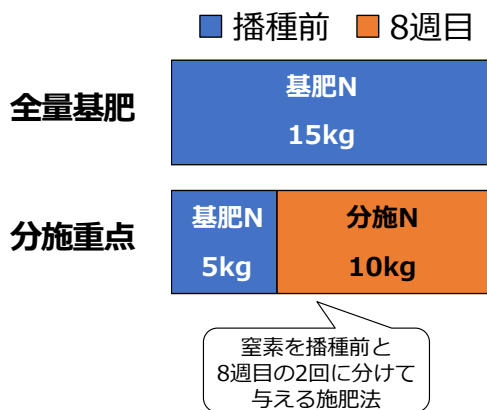
概要 Abstract

最近、加工・業務向け玉ねぎの直まき栽培が十勝管内を中心に増えています。直まき玉ねぎの生育段階に合わせて、効率よく窒素を吸わせてやることで、球の肥大を改善する方法を開発しました。

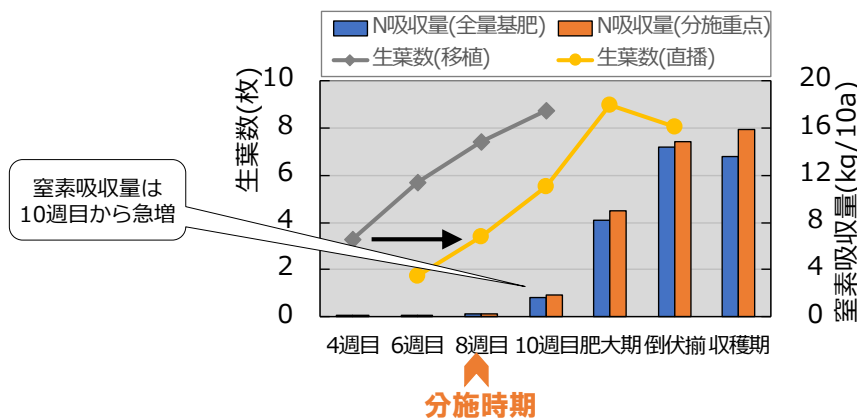
窒素の全量を、播種前：8週目＝1：2として分けて与える（窒素分施）ことで、雨の多い年でも大球を生産し、収量を安定させることができます。

成果 Results

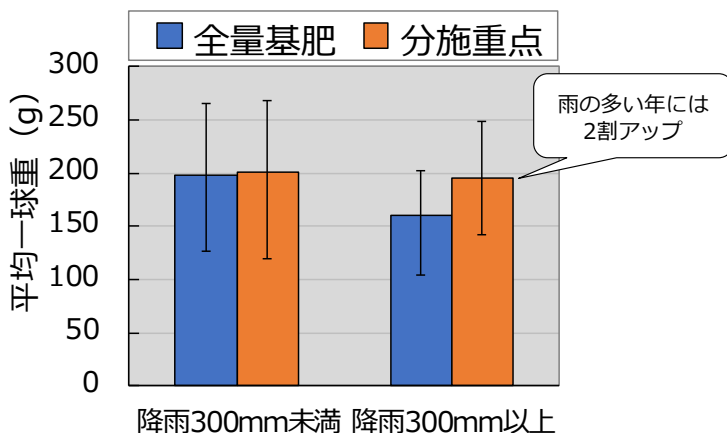
窒素分施とは？



直まき玉ねぎの生育と窒素吸収

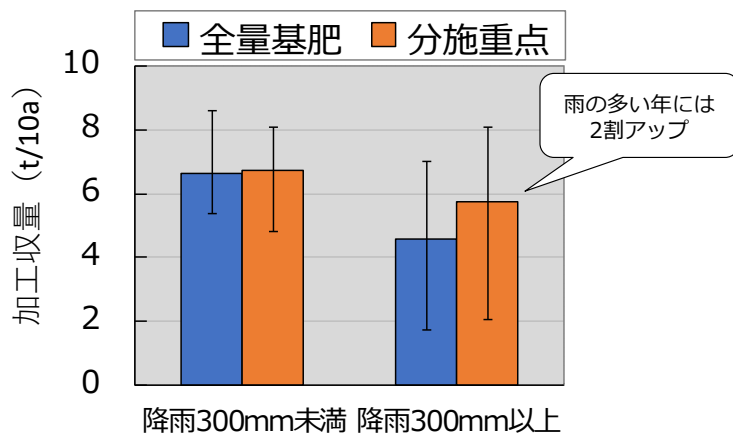


球の大きさへの効果



注) 棒グラフ上の縦線は最大値から最小値の範囲

収量への効果



注) 棒グラフ上の縦線は最大値から最小値の範囲

普及 Dissemination

- 総窒素施肥量は15kg/10aを標準とし、地力に応じて加減します。
- 分施時期は播種8週目を基本とし、前後2週の範囲で、分施日以降の降雨量の見込みにより調整します。

連絡先 Contact

十勝農業試験場
 研究部 生産環境グループ
 0155-62-2431
 tokachi-agri@hro.or.jp